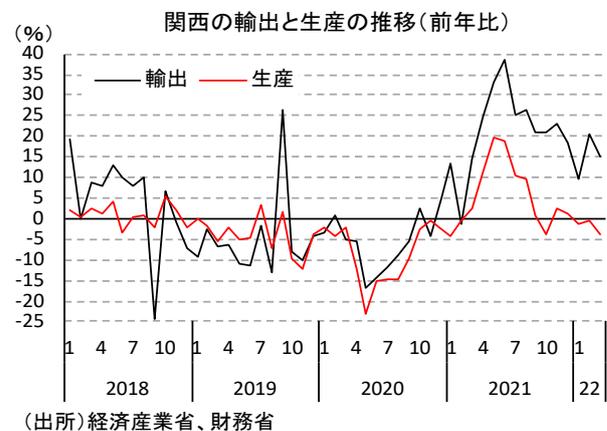
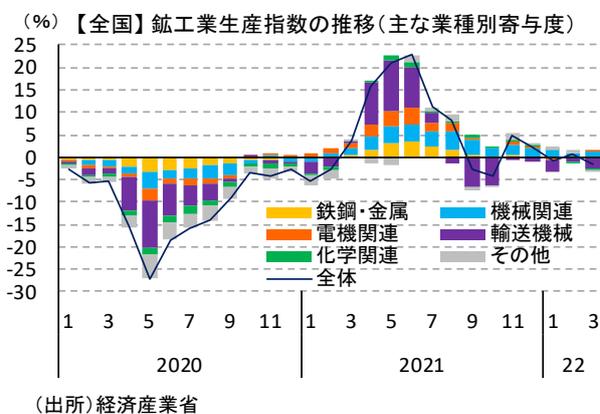
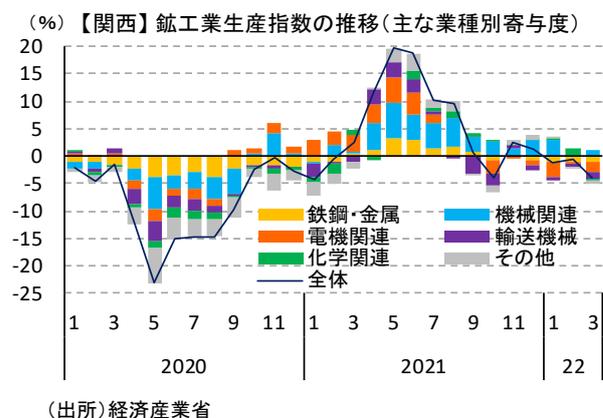
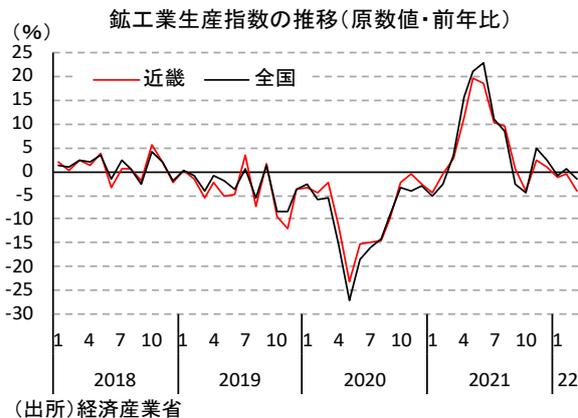


関西の景気トピックス【鉱工業指数（22年3月）】

- 22年3月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で3.9%減と、3か月連続の減少となった。業種別の推移では、これまで全体を牽引してきた建設機械や半導体製造装置などの機械関連の伸びが今月も弱いほか、半導体不足の影響などが電機関連の減少につながっている。
- 在庫循環の動きをみると、前月と同様に、需要が予想を下回って在庫が積み上がる「在庫積み上がり局面」となっている。
- 生産と輸出の関係を見ると、両者には一定の連動性が存在する。21年中旬以降は、やや右下がりの傾向にあるなど、増勢の鈍化が進んでいる。今後については、折からの半導体不足に加え、中国のゼロコロナ政策による成長の鈍化、ウクライナ危機による影響などにも注意が必要となろう。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。